

## 後付センサー水栓

このたびは後付センサー水栓をお買い上げいただき、  
誠にありがとうございます。本製品の機能が充分に発揮されますよう、  
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
なお、お読みになった後は、大切に保管してください。

---

|              |     |              |    |
|--------------|-----|--------------|----|
| 安全上のご注意      | 1   | 取外方法         | 9  |
| 仕様・本体寸法図     | 2   | 電池交換         | 10 |
| 各部の名称        | 3   | ストレーナーの清掃    | 10 |
| 作動のしくみと使い方   | 4   | 使用上のご注意      | 11 |
| 取付前のお願い      | 4   | LED 表示の種類    | 11 |
| 水栓ハンドル部の取外方法 | 5,6 | 「故障かな？」と思ったら | 12 |
| 取付方法         | 7,8 | 保証書          | 裏面 |

---

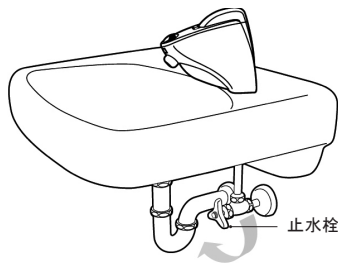
工事業者様へのお願い 必ずユーザー様へお渡しください。





## 安全上のご注意

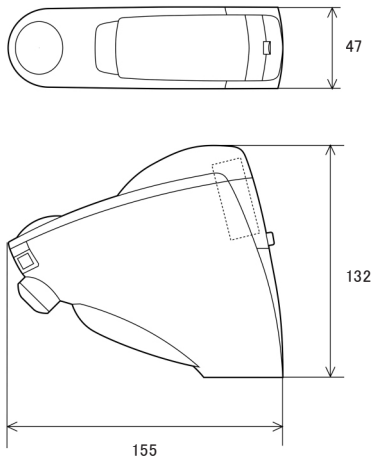
1. 万が一水が止まらなくなった時は、止水栓(右図参照)、または水道の元栓を閉めて止水してください。そのまま放置しておきますと、漏水による事故の原因となります。
2. 本製品をご自分で分解・修理・改造しないでください。故障または事故の原因となります。
3. 水温40℃以上の水が出る配管には、本製品を使用しないでください。使用しますと、吐水口から熱湯が出てやけどをするおそれがあり危険です。
4. 上水道を使用してください。中水道や異物を多く含む水を使用しますと、製品の故障原因になるばかりでなく、飲用した場合体調を損ねることもあります。
5. リチウム電池を充電・ショート・分解・加熱したり、火中に投入しないでください。漏液・発熱・発火・破裂・膨張等の原因となります。
6. 本製品に水を直接かけないでください。故障の原因となります。
7. 点線部分は鋭利になっていますのでご注意ください。
8. お掃除の際、鋭利部分を強く触るとけがをする恐れがありますのでご注意ください。
9. お掃除の際、本体を強くこすらないようご注意ください。手動ボタンや本体のメッキがはがれてしまいます。



仕様・本体寸法図

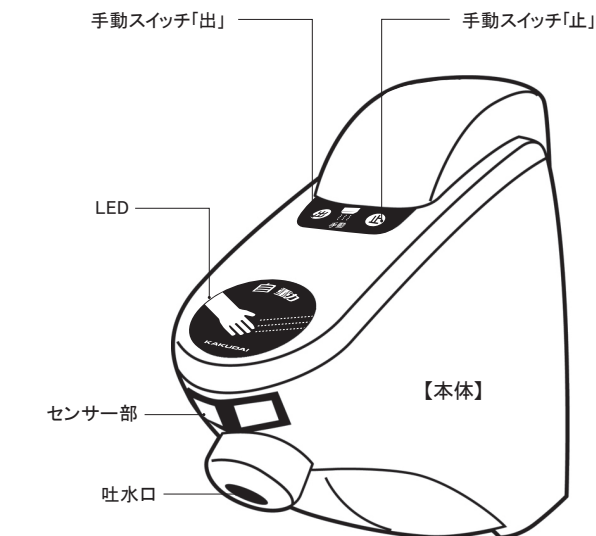
|                 |                                                                                |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 使 用 電 源         | リチウム電池2CR5(DC6V)1個                                                             |
| 電 池 寿 命         | 1日100回の使用(吐水+止水で1回とする)で約3年                                                     |
| 電 池 交 換 告 知     | 赤LEDが点滅                                                                        |
| 手 動 吐 水 機 能     | 手動「出」スイッチを押すと30秒間吐水<br>手動「止」スイッチを押すと止水                                         |
| 自 動 吐 水 停 止 機 能 | 手動「止」スイッチを3秒以上押すと2分間自動吐水を停止<br>手動「出」スイッチを1秒以上押すと解除                             |
| セ ン サ ー 方 式     | 赤外線反射方式                                                                        |
| 作 動 弁 方 式       | パイロット型電磁弁                                                                      |
| 給 水 圧 力         | 最低必要水圧0.05MPa(0.5kgf/cm <sup>2</sup> )<br>最高水圧0.75MPa(7.7kgf/cm <sup>2</sup> ) |
| 使 用 温 度 範 囲     | 周囲1～50℃、水温1～40℃                                                                |
| 外 装             | ABS樹脂                                                                          |

GA-DL001

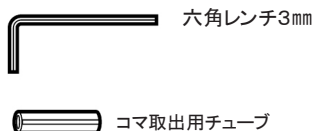


単位/mm

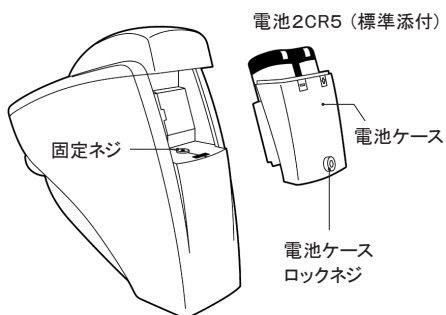
## 各部の名称



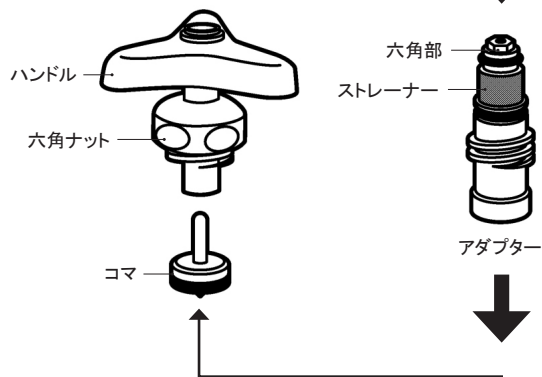
### 【付属工具】



### 【本体背面】



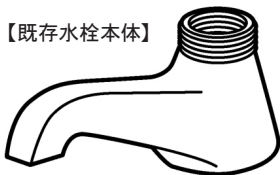
### 【ハンドル部】



### 【既存水栓本体】

### 【水栓金具】

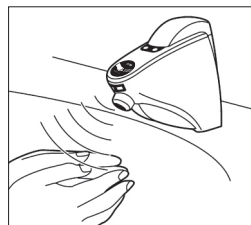
形状は一律ではありません。



## 作動のしくみと使い方

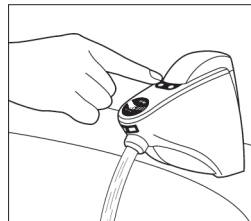
### 1. 自動吐水

- » 吐水口に手を近づけると、吐水口上部のセンサーが感知して水が出ます。
- » 手を離すと約1秒後に止水します。
- » 30秒間連続して感知すると自動的に止水します。再び吐水させたい場合は、一度手を離してから、再度手を近づけてください。



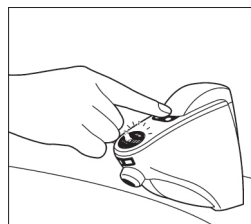
### 2. 手動吐水

- » 手動「出」スイッチを押すと水が出ます。(30秒後に自動止水)
- » 手動「止」スイッチを押すと止水します。



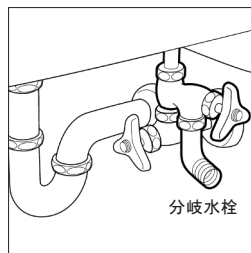
### 3. 自動吐水停止

- » 手動「止」スイッチを3秒以上押すと、緑LEDが点滅し、自動吐水が2分間停止します。
- » 手動「出」スイッチを1秒以上押すと一度吐水し、その後自動吐水に戻ります。



## 取付前のお願い

1. お取付予定の水栓のメーカーと品番を確かめ、本製品が既存水栓に適合する品番であるかどうか、再度ご確認ください。
2. 本製品は屋内用です。屋外では使用しないでください。
3. 高温多湿な所では使用しないでください。
4. 凍結のおそれのある所では使用しないでください。
5. 上水道を使用してください。中水道や異物を多く含む水を使用しますと、製品の故障原因になるばかりでなく、飲用した場合体調を損ねることもあります。
6. 水温40℃以上の水が出る配管には、本製品を使用しないでください。
7. 本製品取付け後はホースを使用しての散水等はできません。清掃時ホース等を使用される場合は、洗面台下スペースの配管部に分岐水栓を付けると可能になります。その場合は、事前に水道工事店様にご相談ください。



## 各種水栓ハンドル部の取外方法

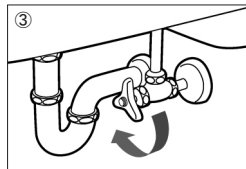
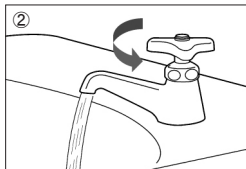
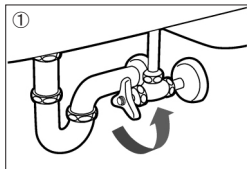
水栓ハンドル部を取外す前に必ず行なってください！

配管のゴミ等を取除く。

- ① 止水栓を時計と反対方向にまわし、全開にしてください。
- ② 水栓を開けて5～10秒ほど水を流してください。配管途中のゴミ等が流れ出ます。

止水栓を閉じる。

- ③ 止水栓を時計と同方向にまわして閉じてください。



水栓外観

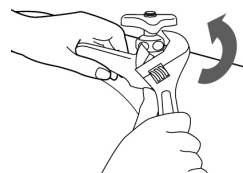


ハンドル部の取外方法

1. ハンドル部の六角ナットを外す。

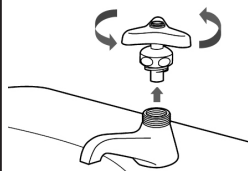
モンキーレンチをハンドル部の六角ナットにかけ、時計と反対方向にまわして、ネジから外してください。

※水栓本体が一緒にまわらないよう、手で蛇口をしっかりと押さえて作業してください。



2. ハンドル部を取外す。

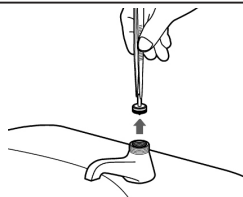
ハンドルを、手で時計と反対方向にまわして取外してください。



3. コマを取出す。

水栓本体に残っているコマを、付属のコマ取出用チューブを使って取出してください。

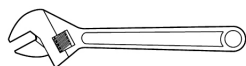
※コマがハンドル部と一体になっている吊りコマ式の場合は、この作業は不要です。



# 水栓ハンドル部取外しに必要な工具

外した部品は保管願います

モンキーレンチ



ピンセット

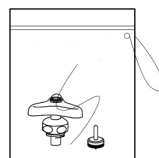
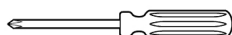
付属のコマ取出用チューブでも  
代用できます。



マイナス精密ドライバー



プラスドライバー



取外したハンドル部・コマは、  
保管しておいてください。

必要に応じて、元の立水栓に  
戻すことができます。

## 水栓外観



## ハンドル部の取外方法

1. ハンドルを取外す。

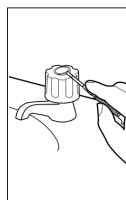
①ハンドルを全開にしてください。

②マイナス精密ドライバーで、ハンドル中央のフタを  
取外してください。

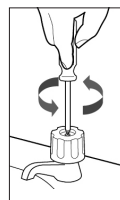
③プラスドライバーで、ハンドル中央のネジを時計と  
反対方向にまわして外してください。

④ハンドルを取外してください。

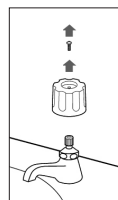
①



②



③

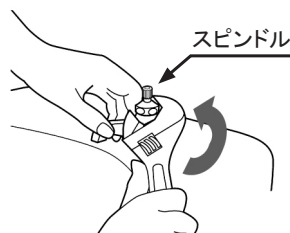


2. スピンドルを取外す。

モンキーレンチを六角ナットにかけ、時計と反対  
方向にまわしてネジから外し、更にスピンドルを  
時計と反対方向にまわして取外してください。

※水栓本体が一緒にまわらないよう、手で蛇口をしっかりと  
押さえて作業してください。

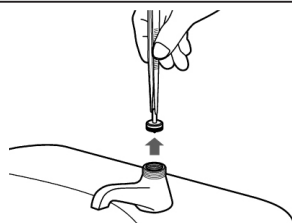
スピンドル



3. コマを取出す。

水栓本体に残っているコマを、ピンセット等を使って  
取出してください。

※コマがハンドル部と一体になっている吊りコマ式の  
場合は、この作業は不要です。





## 取付方法

### STEP1 アダプターを取付ける

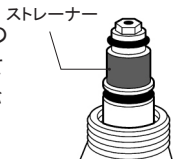
①空の水栓本体にアダプターを差込んで、手で時計と同方向にねじ込んでください。

※アダプターが3本付いている場合は、それぞれを水栓本体にねじ込んでみて、取付けられる1本をご使用ください。

②モンキーレンチで六角部をつかみ、更にねじ込みしっかり固定してください。

※水栓本体と一緒にまわらないよう、手で蛇口をしっかり押さえて作業してください。

ポイント！ アダプター取付後、ストレーナーの位置をご確認ください。ストレーナーがずれていますと、本体装着時に支障をきたすことがありますので、ご注意ください。

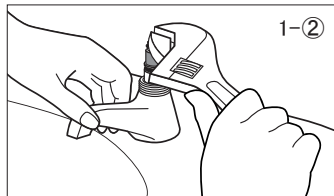
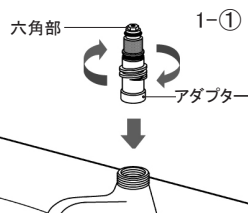


### 必要な工具

モンキーレンチ



付属の六角レンチ3mm



### STEP2 本体を装着する

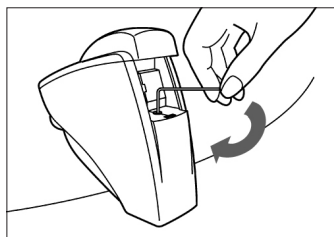
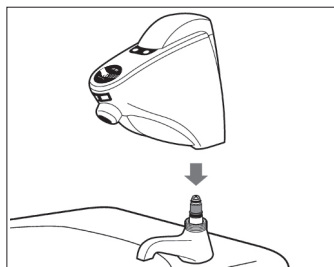
本体をアダプターに差込んでください。このとき、水栓本体は覆い隠され、見えなくなります。

### STEP3 本体を固定する

付属の六角レンチで、本体後ろ側にある固定ネジを時計と同方向にまわして締め、本体を固定してください。

※最後は六角レンチの短い方で更に締めてください。長い方では締付けないでください。長い方で強く締めすぎるとレンチの先端部分（樹脂）が破損します。

ポイント！ 固定ネジを締めても本体がグラグラする場合は、アダプターの固定(上記1-②)が不完全です。本体を外し、再度、アダプターをしっかり締めて固定してください。



#### STEP4 電池をセットする

①付属の電池を電池ケースに挿入してください。

※このとき、電極の＋の位置にご注意ください。

②本体後ろ側の電池装着口にセットしてください。

※電池ケースロックネジを指で軽く押し上げながらセットしてください。

③ネジの頭を下に下げます。

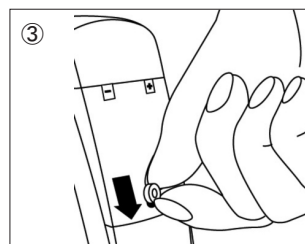
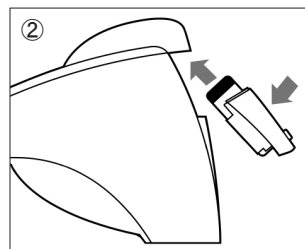
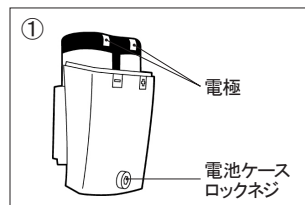
##### 使用可能状態の確認

電池をセットすると、直後オレンジLEDが約2～5秒間点灯します。これは、センサーが感知距離等を確認している状態です。確認終了とともにオレンジLEDが消え、使用可能状態になります。

オレンジLEDの点灯が消えず点滅に変わった場合は、センサーが手洗器・洗面器などの“何か”を感知している状態です。

その場合は…

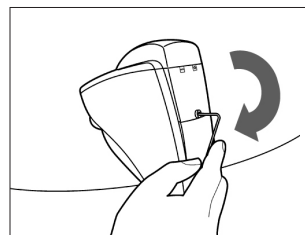
1. センサー感知距離内にある障害物を取除いてください。
2. センサーが手洗器・洗面器を感知しないよう、本製品の向きを左右どちらかに少し変えてください。



#### STEP5 電池ケースをロックする

電池ケースロックネジを、付属の六角レンチで時計と同方向にまわして締めてください。

※電池ケースロックネジは、軽く締付けるだけで結構です。強く絞めすぎると電池の取外しに支障が出る場合がありますのでご注意ください。



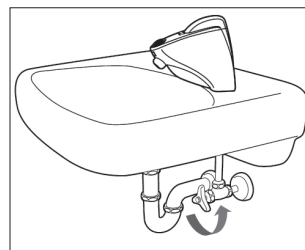
#### STEP6 止水栓を開ける

止水栓を時計と反対方向にまわして開けてください。

※止水栓を開けた直後に一度吐水することがあります。

※取付後は、既存の蛇口からは吐水しません。

吐水量の調節：吐水量は、止水栓をまわして調節します。



## 取外方法

### STEP1 止水栓を閉じる

止水栓を時計と同方向にまわして閉じてください。

### STEP2 電池を取出す

①本体後ろ側にある電池ケースロックネジを、付属の六角レンチで時計と反対方向に2～3回転まわして緩めてください。

※ロックネジは緩めるだけで、取外さないでください。

②電池ケースロックネジを指で上に押し上げながら、電池ケースごと電池を取出してください。

### STEP3 固定ネジを緩める

本体後ろ側にある固定ネジを、付属の六角レンチで時計と反対方向にまわし、空回りするまで緩めてください。

### STEP4 本体を取外す

本体を両手で持ち、そのまま真上に持ち上げるようにして取外してください。

### STEP5 アダプターを取出す

モンキーレンチでアダプター上部の六角部をつかみ、時計と反対方向にまわして緩め、アダプターを取外してください。

※水栓本体が一緒にまわらないよう、手で蛇口をしっかりと押さえて作業してください。

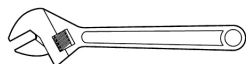
#### 立水栓への復旧

長期間使用しない場合や、万が一、自動吐水が正常に行なわれず通常の使用に支障をきたした場合など、必要に応じて本体を取外し、元の立水栓に戻すことができます。

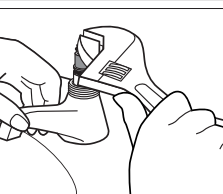
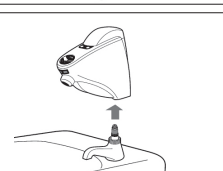
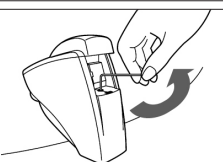
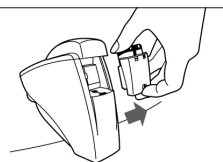
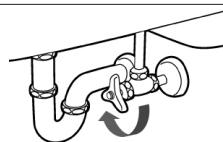
その場合は、P5.6の「各種水栓ハンドル部の取外方法」を参照し、その逆の手順でコマ、ハンドル部を取付けてください。

#### 必要な工具

モンキーレンチ



付属の六角レンチ3mm



## 電池交換

使用している電池は、リチウム電池(2CR5)です。  
カメラ店・ホームセンター・電化製品量販店などで買い求めいただけます。

電池が消耗し電圧が低下すると、赤LED が点滅してお知らせします。このサインが出たら、早めに電池を交換してください。

※上記の電池交換表示が出てもしばらくは通常動作を続けますが、やがて動作が停止します。電池を交換することで復旧します。

### STEP1 電池を取出す

①本体後ろ側にある電池ケースロックネジを、付属の六角レンチで時計と反対方向に2～3回転まわして緩めてください。

※ロックネジは緩めるだけで、取外さないでください。

②電池ケースロックネジを指で上に押し上げながら、電池ケースごと電池を取出してください。



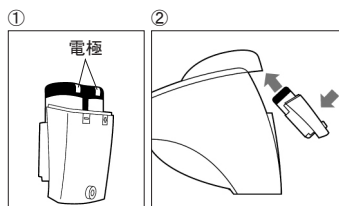
### STEP2 新しい電池(リチウム電池2CR5)をセットする

①新しい電池を電池ケースに挿入してください。

※このとき、電極の＋の位置にご注意ください。

②本体後ろ側の電池装着口にセットしてください。

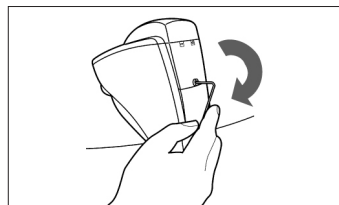
※電池ケースロックネジを指で軽く押し上げながらセットしてください。



使用可能状態の確認 → P8「取付方法」STEP4参照

### STEP3 電池ケースをロックする

電池ケースロックネジを、付属の六角レンチで時計と同方向に締めて、ロックしてください。



## ストレーナーの清掃

ストレーナーにゴミ等が詰まると水の出が悪くなります。その場合は、下記の要領でストレーナーを清掃してください。

1.本体を取外す。→ P9「取外方法」参照

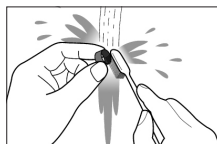
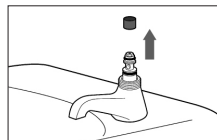
2.アダプターに付いているストレーナーを取外す。

3.ストレーナーを歯ブラシなどで擦りながら水洗いし、ゴミや汚れをよく落とす。

4.きれいになったストレーナーをアダプターに取付ける。

5.本体を取付ける。

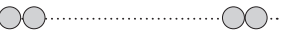
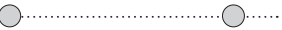
→ P7,8「取付方法」参照



## 使用上のご注意

- 
- A diagram illustrating the prohibition of using alkaline, abrasive, or acidic products. It shows three bottles labeled 'アルカリ' (Alkali), 'クレンザー' (Cleanser), and '酸性' (Acidic), and two brushes, all crossed out with a large 'X'.

## LED表示の種類

| 色    | LED 点灯・点滅表示                                                                                                                        | 表示内容                                                                                                                                                        |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| オレンジ | 2～5秒間点灯                                                                                                                            | 電池セット直後に点灯します。これは、センサーが感知距離等を確認している状態です。確認終了とともに消え、使用可能状態になります。                                                                                             |
|      | 約0.5秒間隔で点滅<br>                                    | 電池セット後、センサーが手洗器・洗面器などの“何か”を感知しているため、感知距離等が確認できず、点灯から点滅になった状態です。<br>→P8「取付方法」STEP4 <使用可能状態の確認> 参照                                                            |
| 赤    | 約1秒間隔で点滅<br><電池交換告知><br>                          | 電池交換告知です。電池が消耗し電圧が低下していますので、早めに電池を交換してください。                                                                                                                 |
|      | 約2秒おきに3回連続点滅<br><電池交換告知(動作停止)><br>              | 電池が完全に消耗し、動作停止状態になりました。電池を交換してください。                                                                                                                         |
| 緑    | 約2秒間隔で点滅<br><自動吐水停止中><br>(時間経過とともに点滅間隔短くなる)<br> | 手動「止」スイッチを3秒以上押して、自動吐水が停止した状態です。手動「出」スイッチを1秒以上押すと自動吐水停止状態が解除され、点滅も止まります。自動吐水停止状態は、最長2分間継続しますが、解除までの残り時間が少なくなるにつれて点滅間隔が短くなります。                               |
|      | 約8秒おきに2回連続点滅<br>                                | 自動吐水状態が30秒間続いて吐水が停止した状態です。センサー感知距離内にある障害物を取除いてください。また、洗面ボールに水がたまっている場合は、いったん水をはらってください。                                                                     |
|      | 約8秒間隔で点滅<br>                                    | 手や物などをセンサーが感知して自動吐水を行なっている時に、手動「止」スイッチを押したために、吐水が停止した状態です。そのままの状態では吐水を再開したい場合は、手動「出」スイッチを押すと通常に自動感知状態に戻り、吐水を再開します。また、センサーが感知している手や物などを取除いても、通常の自動感知状態に戻ります。 |

## 「故障かな？」と思ったら

“故障かな？”と思ったら、以下の事項をご確認ください。それでも状況が改善されない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問合せください。

### ■ 水が出ない

| 状 況                      | 原 因                    | 処 置                                                  |
|--------------------------|------------------------|------------------------------------------------------|
| 赤LEDが点滅                  | 電池消耗                   | 電池を交換してください。→P10                                     |
| 緑LEDが点滅                  | 自動吐水停止機能作動中            | ①センサー感知距離内の障害物を取除いてください。<br>②洗面ボールの水をはらってください。       |
|                          | 自動吐水状態が30秒以上続いて吐水が停止した |                                                      |
| オレンジLEDが点滅               | センサー感知距離調整不能           | ①センサー感知距離内の障害物を取除いてください。<br>②本体の向きを左右どちらかに少し変えてください。 |
| LED点滅なし<br>“カチッ”という動作音あり | 止水栓が閉じている              | 止水栓を開けてください。                                         |
| LED点滅なし<br>“カチッ”という動作音なし | 電池消耗                   | 電池を交換してください。→P10                                     |
|                          | センサー部の汚れ               | ストレーナーを清掃してください。→P10                                 |

### ■ 水の出が悪くなった

| 状 況          | 原 因           | 処 置                  |
|--------------|---------------|----------------------|
| 正常動作、LED点滅なし | センサー部の汚れ      | センサー部をよく拭いてください。     |
|              | 止水栓で吐水を絞ってある  | 止水栓を開けてください。         |
|              | ストレーナーが詰まっている | ストレーナーを清掃してください。→P10 |

### ■ 水が止まらない

| 処 置                                                                                                                                                                                         |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| ①手動「止」スイッチを押してください。→P4<br>②センサー部をよく拭いてください。<br>③センサー感知距離内の障害物を取除いてください。<br>④洗面ボールの水をはらってください。<br>⑤上記の処置をして止水はしたが自動感知に戻らない場合は、手動「止」スイッチを約10秒以上、オレンジLEDが点灯するまで押してください。オレンジLEDが消えれば、自動感知に戻ります。 |  |

### ■ 水が漏れる

| 状 況        | 原 因                  | 処 置                                              |
|------------|----------------------|--------------------------------------------------|
| 水栓本体からの水漏れ | アダプターのねじ込み不足         | 本体、アダプターを取外し、取付け直してください。→P7.8                    |
|            | アダプター取付部分にゴミがくっ付いている | 本体、アダプターを取外し、アダプター・水栓本体に付着しているゴミを取除き、取付け直してください。 |
| 吐水口周囲の水漏れ  | 吐水口の金具のゆるみ           | 吐水口の金具を締めてください。                                  |



# 保証書

|             |            |       |
|-------------|------------|-------|
| お客様様        | (ふりがな)     |       |
|             | お名前        | 様     |
|             | ご住所        | 〒     |
|             | 電 話        | ( ) ー |
| 販売店         | 店名 住所      |       |
|             | 〒 電 話( ) ー | (印)   |
| お取付日(お買上げ日) |            | 年 月 日 |

|      |                      |
|------|----------------------|
| 品 番  | GA-DL001             |
| 製造番号 |                      |
| 保証期間 | お取付日(お買上げ日)から<br>1ヵ年 |

## <修理メモ>

| 年 月 日 | 修 理 内 容 | 担当者 |
|-------|---------|-----|
|       |         |     |
|       |         |     |
|       |         |     |
|       |         |     |



本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4  
☎(06)6538-1124

## 無料修理規定

- 商品包装・取扱説明書・取扱表示シールなどの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理致します。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の販売店、工事店に修理を依頼できない場合、本書に記載のもよりの弊社事業所にご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合は有料修理とさせていただきます。
  - (1)使用、維持管理上の不注意や誤りによる不具合および不当な修理や改造による不具合。
  - (2)水道に関する国の基準(水道法)に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
  - (3)お取付後の取付場所の移動およびそれに伴う落下などによる不具合。
  - (4)火災、落雷、地震、風水害、津波、地盤沈下、雪害などの天変地異、公害(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなどの各種ガス)、異常電圧、破壊行為、その他事故などによる不具合。
  - (5)金属の腐食しやすい環境(海岸付近、温泉地など)に起因する不具合。
  - (6)凍結に起因する不具合。
  - (7)一般家庭用途以外(業務用途での使用、車両や船舶などの移動体への搭載など)に使用された場合の不具合。
  - (8)消耗部品(パッキンや乾電池など)の消耗に伴う不具合。
  - (9)塗装の色あせやさびなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
  - (10)弊社の定める施工説明書などに基づかない施工および工事に起因する不具合。
  - (11)砂やゴミ、給水・給湯配管のさびなどの異物流入および水あかの着着、排水の詰まりに起因する不具合。
  - (12)清掃時の不備による汚れ・さび、洗剤や薬品などによる不具合。
  - (13)日常のお手入れ箇所(ストレーナーなど)のOリングやパッキンの摩耗・劣化による不具合。
  - (14)本書の期限切れ、または提示がない場合。
- (15)本書にお取付日、お客様のお名前、販売店名、工事店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合。  
※有料修理の際の修理費用は下記内容(A,B,C)の合算により、算出されます。
  - A.修理および部品交換などの「技術費用」
  - B.修理および部品交換などにかかった「部品代金」
  - C.技術者を修理場所へ派遣した際の「出張費用」

### 部品の交換について

無料修理により取外された部品・製品は㈱カクダイの所有となります。

※お客様にご記入頂いた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がありますので、ご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などにつきましてご不明の場合は、お買上げの販売店、工事店または弊社にお問い合わせください。